

横浜市交通政策推進協議会
第17回地域交通部会 会議要旨

- 1 日時 令和4年3月22日(火) 10:00~11:30
- 2 場所 横浜市研修センター 602・603号室
- 3 議事内容 (1) 横浜市からの報告事項
(2) 地域交通の動向について
- 4 議事要旨

【1 横浜市からの報告事項】

- (1) 令和4年度 交通・移動に関する予算について
- (2) 横浜市交通政策推進協議会(令和3年12月開催)について【報告】
- (3) 横浜都市交通計画の一部改定について

⇒ 都市整備局都市交通課から説明

(主な意見)

- ・横浜都市交通計画に記載のある内容の実行には、本部会に参加している交通事業者や行政等の協力が不可欠である。計画の実行に向けたスケジュールを教えてほしい。
→本計画の一部改定は令和4年度中を予定している。令和4・5年度予算において、実証実験費用等の関連費用を盛り込み、令和6年度以降の実装を目指していきたい。

【2 地域交通の動向について】

⇒ 都市整備局都市交通課から説明

(主な意見)

- ・タクシーを活用した実証実験の実施にあたり、実施する地域の選び方を教えてほしい。
→地域が移動手段の確保に取り組む意向がある地域であることが前提条件となる。各区の区社協やケアプラザにも地域の状況を確認しながら行っていく。
- ・道路局が行っている「地域交通サポート事業」では、事業の実施にあたって市の地域公共交通会議に諮っているが、今回のタクシーを活用した実証実験の実施にあたっては、そういった会議の場での共有はあるのか。
→タクシー協会等と進め方について検討しているところである。
- ・ベビーカーを利用していたり子どもを連れていたりする親にとってはバスなどの乗継は負担になる。

(つづく)

- ・高齢者にとって地域の方との相乗りは、地域のつながりを認識できる良い機会となる。
- ・多世代で使える乗り物があるのは良い。移動だけではなくほかの目的と絡めて考えられると良い。
- ・子育て世代を対象とした「子育てタクシー」というサービスは、現状、個別利用を基本に考えられているが、相乗りしてもっと割安にタクシーを使いたいといった利用者のニーズはタクシー事業者も把握できていないので、市の取組によってそこが明らかになるとよい。
- ・子育て世代の移動ニーズは把握できている一方で、高齢者の移動ニーズが十分把握できていない。
- ・タクシーを活用した実証実験の実施にあたっては、家の前まで移動できるというタクシーのメリットを生かしてほしい。
- ・タクシーを活用した実証実験を通して、地域がタクシーなどの公共交通の自発的な利用につながることを期待したい。

5 出席者

- ・特定非営利活動法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
- ・アサヒタクシー株式会社
- ・神奈川中央交通株式会社
- ・特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会
- ・横浜市 健康福祉局 企画課
- ・横浜市 健康福祉局 障害自立支援課
- ・横浜市 道路局 企画課 交通計画担当
- ・横浜市 都市整備局 都市交通課
- ・国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局

以上